

IPPFのウクライナ危機への対応 女性と少女の緊急ニーズに取り組む

発表者：
ジュリータフト
IPPF人道支援部長
&
マルタレンパート
女性ストライキ代表

2022年4月5日
JFPFウクライナ支援
緊急会議 (II)



緊急時の性と生殖の健康と権利（SRHR）課題

- 性と生殖の健康は、命を左右するのに見落とされがち

- ウクライナ残留国内避難民の53%が女性; 避難民の90%が女性と子供

(GBV AOR Ukraine Report、2022年4月1日)

- 最も脆弱なのは、周縁化された人々（少数民族等）

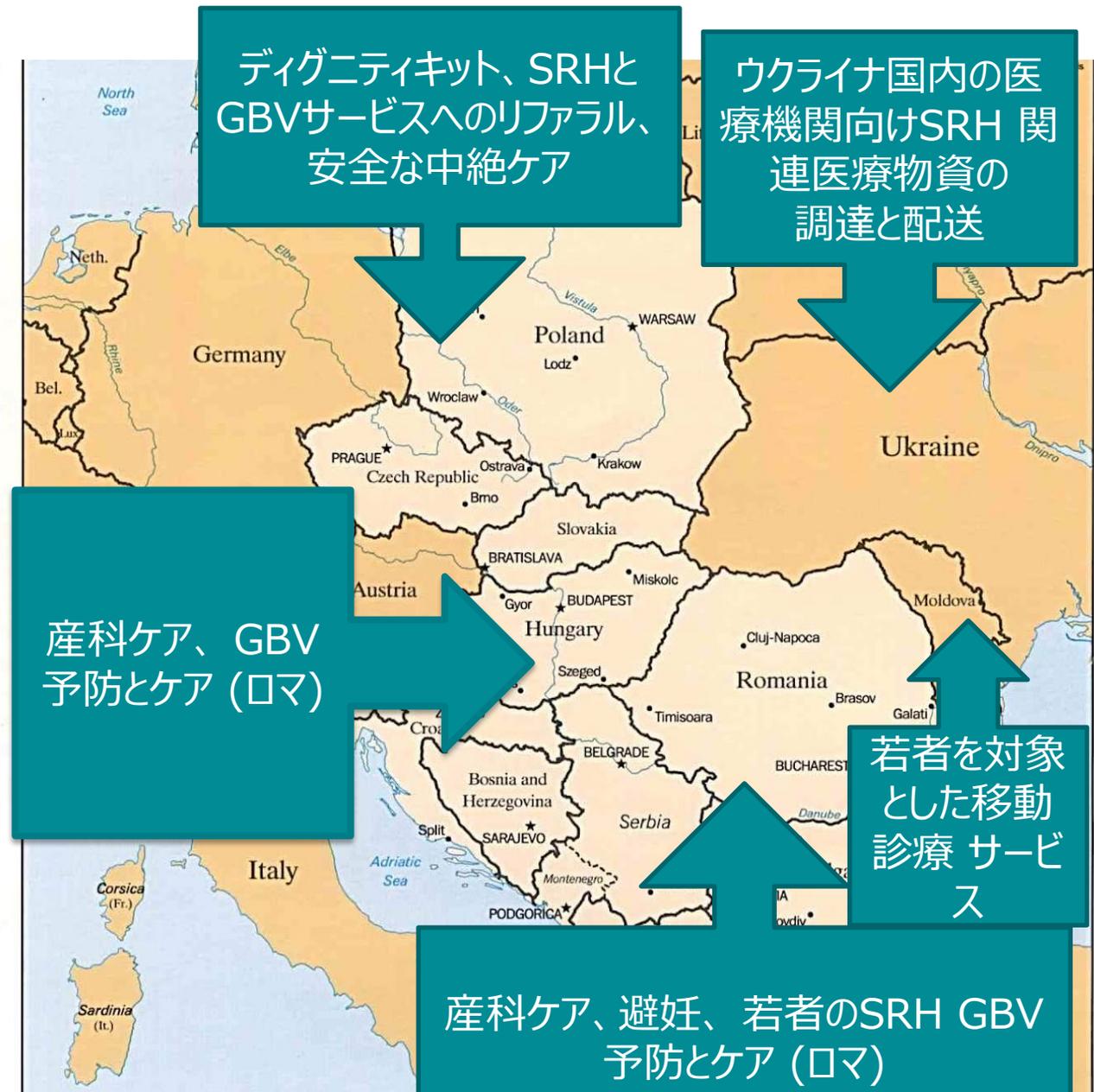
- 主導すべきは、現地の事情・人々を熟知するその国のNGO

IPPFの対応戦略

■ 緊急ニーズ

- 1) 性とジェンダーに基づく暴力 (SGBV) から女性と少女を守る
- 2) 女性と少女のために性と生殖の健康サービスへのアクセスを確保する

■ 産科医療、避妊具、性感染症、HIVケア、レイプ臨床診療、心理社会的支援等の提供



ハンガリー ブタペスト ニュガティ駅

2022年3月8日
写真撮影：
ジュリータフト



モルドバ、キシナウ、マネジ（Manej）スポーツアリーナ

2022年3月14日、写真撮影：ジュリータフト



ポーランドにおけるウクライナ避難民を 対象とした活動 (by 女性ストライキ)





人々による 人々のための 活動

- ワルシャワの21活動拠点
- 1日に6000人を支援
- 3000人のボランティアが500都市の活動拠点で支援
- 過去40日間で80000人を支援





必須物資を避難民に届ける

食料、おむつ、生理用品、衛生用品、毛布 等



女性と子どものための安全な場所— 尊厳ルールと国際支援



IPPFから日本政府への提言

- IPPFの加盟協会とパートナーのような地元NGOの活動支援
- 最もニーズの高い人々に届く活動の確実な実施・継続支援



女性と少女たちが命にかかわるケアに確実にアクセスできるよう、地元NGOの活動を支援することが非常に重要

支援活動は、少数民族等の最も脆弱な人々に届けられるよう、特別に配慮して準備されなくてはならない。